

Sea-NACCSにおけるCY搬出入業務等のシステム化についての検討

NACCSセンターにおきましては、港湾における国際物流業務のSea-NACCSによるシステム化を通じて、効率的な業務処理を実現するための各種サービスを提供するための取組を行っております。

Sea-NACCSは、平成20年10月にシステム更改を実施し、港湾における「総合的物流情報プラットフォーム・システム」として新たな稼動を開始しました。現在、輸出入されるほとんどのコンテナ貨物について、Sea-NACCSを利用した各種の業務処理が行われております。

今般、NACCSセンターにおきましては、港湾における国際物流業務の一層の効率化に寄与することを目的として、Sea-NACCSにおいて、コンテナのCY搬出入業務（搬出入伝票の情報化等）、輸出における空コンテナ・ピックアップオーダー業務、デマレッジ等の電子決済業務等の新たなサービスを提供することができないか検討を行っております。また、この新たなサービスの提供に向けた検討におきましては、まずは東京港を中心とした検討を行っており、その後、横浜港、大阪港、神戸港等へ順次展開する方向で検討を行っております。

【システム化に向けた検討の対象範囲】

1. 輸出

- ① 船会社等によるブッキング情報の登録（CYへブッキング情報を送付）
- ② 空コンテナ・ピックアップオーダー業務の新設（海貨業と船会社等との間の空コンテナ・ピックアップオーダー業務をシステム化するとともに、バンプールのNACCS参加による空コンテナ引渡業務のシステム化
- ③ CYへのコンテナ搬入における「CY搬入情報」の事前登録によるペーパーレス化（CY搬入票の省略（コンテナ番号での搬入））

2. 輸入

- ① 船会社等によるCYに対する「輸入貨物荷渡情報登録（DOR）」業務におけるDOIの不要化
- ② 海貨業による「輸入コンテナ引取予定情報通知（RSS）」業務による引取予定情報の登録
- ③ CYによる「輸入コンテナ引取予定確認情報通知（RST）」業務による搬出ID等の通知
- ④ デマレッジ（超過保管料）等のNACCSを利用した電子決済業務の新設
- ⑤ CYからのコンテナ搬出におけるCY発給の搬出IDによる引取によるペーパーレス化（CY搬出票の省略）